

[研究成果名]長野県で育成したトルコギキョウ「長花交 34～37 号」

[要約]抑制栽培に向く切り花用トルコギキョウ F₁ 品種 4 品種を育成した。品種の特性は「長花交 34 号」が濃いピンクの八重咲き中大輪、「長花交 35 号」が白地にピンクの緋が入る八重咲き大輪、「長花交 36 号」が純白の八重咲き中輪、「長花交 37 号」がややクリーム色がかった八重咲きの中輪である。

[キーワード]トルコギキョウ、新品種

[担当]長野県野菜花き試験場・育種部

[代表連絡先]電話 0263-52-1148

[背景・ねらい]

長野県ではトルコギキョウが約 50ha 作付けされ、7～8 月出荷の無加温作型が多い。しかし、ブライダルやイベントディスプレイ向けの需要が多い 9～11 月に単価が上昇する傾向があることから、本県では秋の需要期（9 月～11 月出荷）の生産拡大を進めてきた。高温期を経過するこの作型では、高品質で草丈が確保しやすく、低照度条件下でもプラスチック（蕾が発育を停止し開花しないもの）が発生しにくいなどの栽培しやすい品種が求められる。さらに商品性の面からは需要の多い八重咲きで花色が白やピンクで発色に優れる品種が求められている。

[成果の内容・特徴]

1. 長野県野菜花き試験場と（一社）長野県農村工業研究所との共同研究により、両者が持つ育種素材を利用して一代交配の 4 品種を育成した（表 1～2）。
2. 「長花交 34 号」は、花色は桃色、花径が 8～9 cm の中大輪、花弁数は 20～25 枚で多弁の八重咲きである。草丈・茎長とも対照品種の「エクローサピンク」より長く、葉は広卵形で葉色は比較的濃い。花序は段咲きである。開花期は対照品種の「エクローサピンク」（中早生）よりやや遅い中生である。ロゼットは発生しにくい。
3. 「長花交 35 号」は、花色は白地に淡い桃色が緋状に入り、花径が 10cm 前後になる大輪で、花弁数は 20 枚前後の八重咲きである。草丈・茎長とも対照品種の「エクローサピンクフラッシュ」より長い。花序は段咲きで、花蕾数はやや少ない。開花期は対照品種の「エクローサピンクフラッシュ」（中早生）より遅い中生である。高温期の育苗ではロゼットが若干発生しやすい。
4. 「長花交 36 号」は、花色は純白、花径が 7.5cm 前後の中輪で、花弁数 10～15 枚の八重咲きである。草丈・茎長とも対照品種の「ボレロホワイト」とほぼ同等である。花序は段咲きである。開花期は対照品種の「ボレロホワイト」（中早生）よりやや遅い中生である。高温期の育苗において、種子冷だけではロゼットが発生する場合がある。
5. 「長花交 37 号」は、花色はアイボリー掛かった白色で、花径は 7～7.5cm の中輪、花弁数 15～20 枚の八重咲きで、花弁にフリンジが入る。草丈・茎長は対照品種の「ボレロホワイト」よりやや低い、茎は太い。花序は頂天咲きである。開花期は対照品種の「ボレロホワイト」（中早生）よりやや遅い中早生である。ロゼットは入りにくい。

[成果の活用面・留意点]

1. この 4 品種は県の職務育成品種審査会において育成品種として認められたが、品種登録はしないことになっている。
2. 種子は、（一社）長野県原種センターから販売される。

[具体的データ]



長花交 34 号



長花交 35 号



長花交 36 号



長花交 37 号

表 1 形態及び生態的特性

	長花交 34 号	長花交 35 号	長花交 36 号	長花交 37 号
花 色	桃色	白色地に桃色 縞	純白色	白色(ややクリーム)
花サイズ	中大輪 8.5cm 前後	大輪 10cm 前後	中輪 7.5cm 前後	中輪 7.5cm 前後
花 弁	八重 24 枚前後	八重 20 枚前後	八重 14 枚前後	八重 18 枚前後
開花早晚	中生	中晩生	中生	中早生
花 序	段咲き	段咲き	段咲き	頂点咲き
草 丈	80~100cm	80~110cm	70~90cm	60~85cm

※草丈、花サイズ、花弁数は 7 月開花の無加温作型のもの

表 2 花持ち日数

	長花交 34 号	長花交 35 号	長花交 36 号	長花交 37 号
花持ち日数(日)	9.2	11.6	12.0	11.6

※約 23℃, 相対湿度 60%, 12hr 照明, 前処理なし、鑑賞不可花 50%未満の日数

実需者評価

長花交 34 号：花色や花サイズは普通だが花数や枝振りはいよい。蕾の色の变化もおもしろい。アレンジメント用としてもよい。段咲きが難点。

長花交 35 号：花の色、形とも良く、特にサイズが大きくて良い。段咲きが難点。

長花交 36 号：色は純白でよい。花は小さいが一般的な装飾用としては十分。やや個性に欠ける感じがする。

長花交 37 号：花は小振りだが、ナチュラルな白さがよく、花弁のフリンジもきれい。

[その他]

研究課題名：野菜・花きの育種に関する素材開発研究

予算区分： 県単

研究期間： 2006~2013

研究担当者：内津政直、宮坂昌実